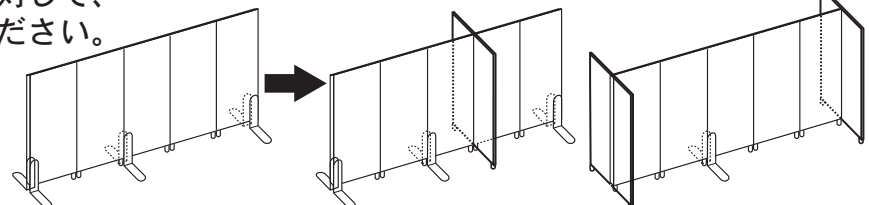


## パネルの揺れが気になる場合には

- 1, 安定脚を取り付けているパネルの  
アジャスターを再度調整してください。



- 2, 直線で連結しているパネルに対して、  
直交するパネルを追加してください。



## フロアパネル取扱説明書

Garage®

20201119

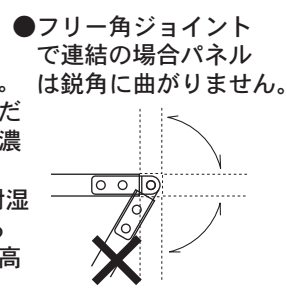
この度は当社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき永らくご愛用いただきますよう、お願い申し上げます。  
お読みになった後は、大切に保管してください。

- 警告**
- パネルに寄り掛かると、パネルが倒れ、ケガをする恐れがあります。
  - 固定パネルを組立てたまま移動しないでください。パネルが倒れ、ケガをする恐れがあります。
  - 傾斜や凸凹のある床で使用しますと、パネルがズレたり倒れてケガをする恐れがあります。
  - 不要になった場合など、焼却処理などをしないでください。有毒ガスなどが発生する恐れがあります。

- 注意**
- 風の強い場所に設置しないでください。パネルが転倒してケガをすることがあります。
  - 指定された部品以外を使用しないでください。製品が破損したり、物が落下してケガをすることがあります。
  - 暖房器具などに近づけて設置しないでください。火傷、物の変形、火災になることがあります。
  - ネジ類がゆるんだまま使用しないでください。本体が壊れてケガをすることがあります。
  - 製品を解体、分解、改造しないでください。製品が故障したり、ケガをすることがあります。
  - パネルにぶら下がらないでください。パネルが転倒してケガをすることがあります。
  - 連結穴、すき間などに指を入れないでください。ケガをすることがあります。
  - 遊具代わりに使用しないでください。転倒してケガをすることがあります。
  - 異常を発見したまま使用しないでください。本体が壊れてケガをすることがあります。
  - 用途以外では使用しないでください。ケガをすることがあります。

### 一般のご注意

- 直射日光や熱、冷暖房器具の強風を直接当てないでください。ゆがみや変形の原因となります。
- 購入当初は、化学物質の発散が多いことがあります。暫くの間は、換気や通気を十分に行うよう心掛けてください。室内の換気が十分に行われないと室内化学物質濃度が高まり、健康に影響を及ぼすことがあります。
- 室内が著しく高温多湿になる場合（温度28℃、相対湿度50%超が目安）には、窓を開け切らないようにするか、強制換気を行ってください。室内化学物質濃度が高まり、健康に影響を及ぼすことがあります。



### 品質表示

- 外形寸法  
 GP-0610 W 600×D30×H1010mm  
 GP-0615 W 600×D30×H1460mm  
 GP-0710 W 700×D30×H1010mm  
 GP-0715 W 700×D30×H1460mm  
 GP-0810 W 800×D30×H1010mm  
 GP-0815 W 800×D30×H1460mm  
 GP-1010 W1000×D30×H1010mm  
 GP-1015 W1000×D30×H1460mm  
 GP-1210 W1200×D30×H1010mm  
 GP-1215 W1200×D30×H1460mm

■素材：繊維板（パーティクルボード、MDF）

### ■取扱上の注意

- 直射日光又は熱を避けてください。
- 据え付けに際し、湿気の多いところを避けアジャスターの調整でパネルを水平に設置してください。

プラス株式会社 ファニチャーカンパニー  
 東京都千代田区九段北4-1-7 7階

### お手入れ方法

- ボルトやネジのゆるみが発生した場合は、増し締めを行ってください。
- 汚れを落とす場合は、から拭きするか、固く絞った布等で拭いてください。
- 汚れのひどい場合には、薄めた中性洗剤を使用して拭き取り、その後固く絞った布等で拭いて洗剤を完全に洗い除いてください。
- ※シンナー、アルコール類は使用しないでください。

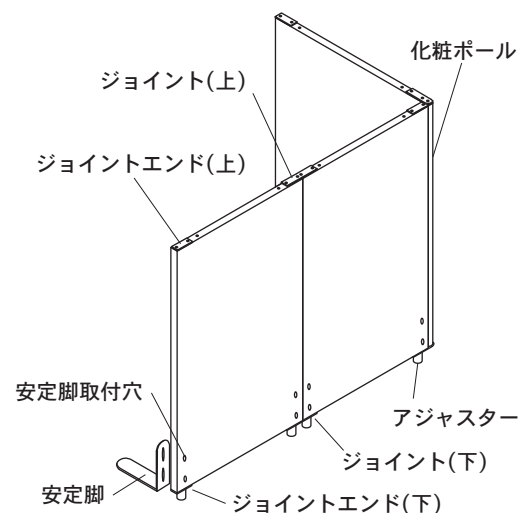
### お問い合わせ先

- 製品に関するご質問は、ご購入店、または下記のお問い合わせセンターにお寄せください。
- ガラージュお客様センター Tel.0120-331-753
- 10:00~17:00（土日曜、祝日、年末年始を除く）

Garage®

## フロアパネル組立説明書

20201119



組立の前に必ずお読みください。不適切な組立は事故につながる恐れがあります。  
 必ず二人で組立ててください。



- 工具類の取り扱いには十分ご注意ください。
- 組立の際はお子さまに注意し、広い場所で行ってください。
- 組立説明書に従って組み立ててください。
- 組立手順を間違えると組立たない場合があります。
- 組立の際、製品及び床などを傷つけないようご注意ください。

### 注意



- 組立手順に従い、はめ込む部分は確実ににはめ込んでください。不十分ですと使用中に製品が破損し、ケガをする恐れがあります。
- 組立手順に従い、ネジなどで確実に止め、組立ててください。不十分ですと使用中に製品が破損し、ケガをする恐れがあります。

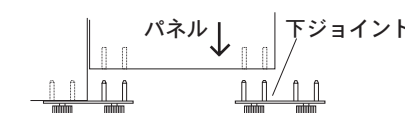
### 部品一覧

	GP-0610	GP-0615	GP-0710	GP-0715	GP-0810	GP-0815
パネル	W600	W600	W700	W700	W800	W800
キャップ	10ヶ	12ヶ	10ヶ	12ヶ	10ヶ	12ヶ
木ダボ	—	1ヶ	—	1ヶ	—	1ヶ

	GP-1010	GP-1015	GP-1210	GP-1215
パネル	W1000	W1000	W1200	W1200
キャップ	10ヶ	12ヶ	10ヶ	12ヶ
木ダボ	1ヶ	1ヶ	1ヶ	1ヶ

### パネルを設置する前に ご覧ください

- 必ず設置場所で組立ててください。
- ジョイントしていく時は、必ず次のパネルの下ジョイントを、所定の位置に置いてからパネルを差し込んでください。

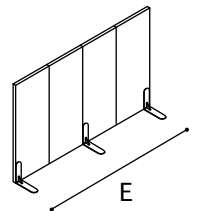


※各ジョイントの下ジョイントは、差し込み式になっており、パネルとは固定しません。これは、お客様による組立、組み替えを、狭い場所でもできるように、配慮した設計によるものです。

### パネルを設置する際の御注意

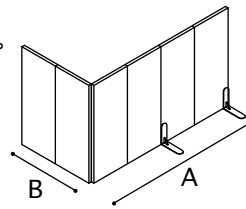
#### ●直線に設置する場合

- ・直線の連結（Eの幅）は総幅3600まで。
- ・パネル2枚につき1ヶの安定脚を取り付けてください。



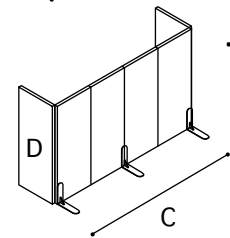
#### ●L字に設置する場合

- ・直線の連結（Aの幅）は総幅3600まで。
- ・Bの幅がAの幅の2分の1以上になるようにしてください。
- ・パネル2枚につき1ヶの安定脚を取り付けてください。



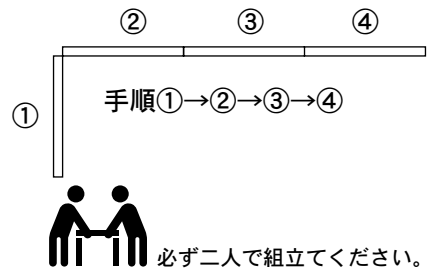
#### ●コの字に設置する場合

- ・直線の連結（Cの幅）は総幅3600まで。
- ・Dには600mm以上のパネルをお使いください。
- ・パネル2枚につき1ヶの安定脚を取り付けてください。



### 手順

#### パネル連結の手順



- 1つのフリー角、T連結、十連結等のコーナー部分から、又は安定脚を取り付けた部分から組み立てて自立させ、パネルを接続延長させることで施工されます。
- ※組立後に移動するとジョイントが抜けたり曲がったりすることがあります。

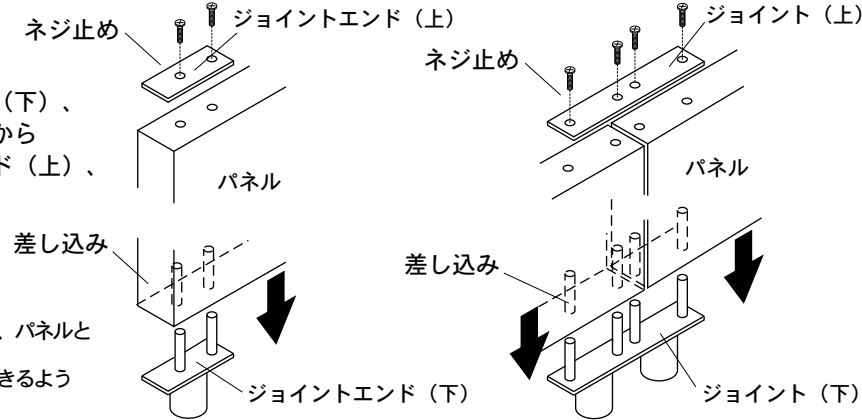
使用工具 ④ +ドライバー  
 用意する物 5円玉等のコイン、糸

### パネルのジョイントの概要

- ジョイントは上部品と下部品の2つで構成されています。
- 連結の際は、まず下部品（ジョイントエンド（下）、ジョイント（下））を床に置き、パネルを端から差し込みます。次に上部品（ジョイントエンド（上）、ジョイント（上））をネジ止めし、パネルをしっかりと固定してください。

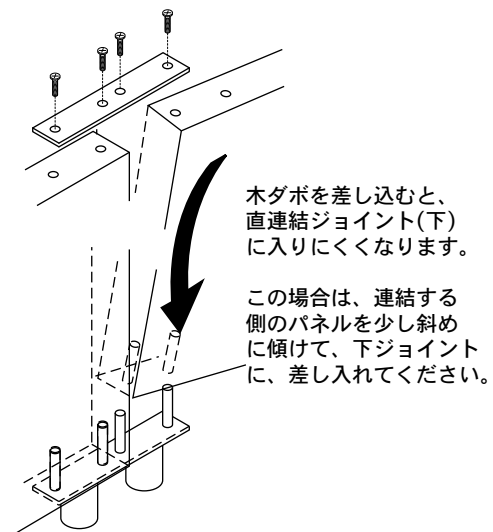
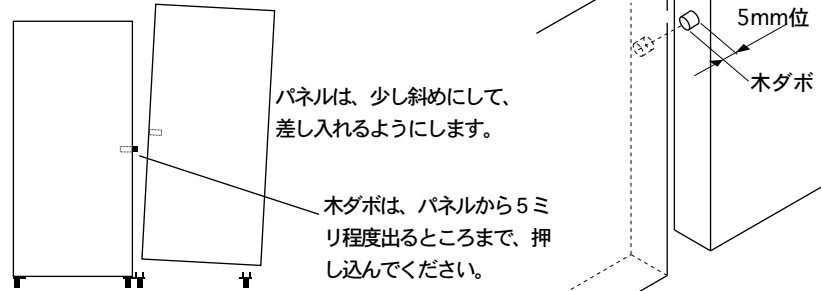
\*パネルを差し込む時は両端を下部品に同時に差し込むようにしてください。

※各ジョイントの下ジョイントは、差し込み式になっており、パネルとは固定しません。これは、お客様による組立、組み替えを、狭い場所でもできるように、配慮した設計によるものです。

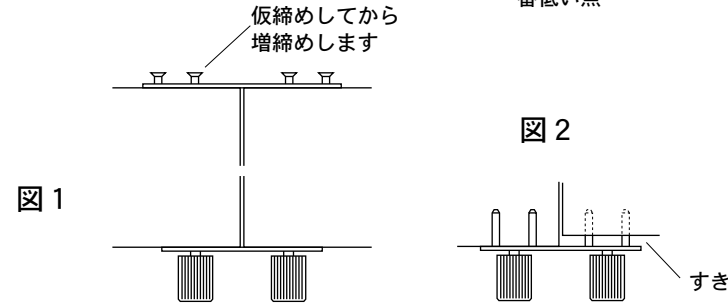
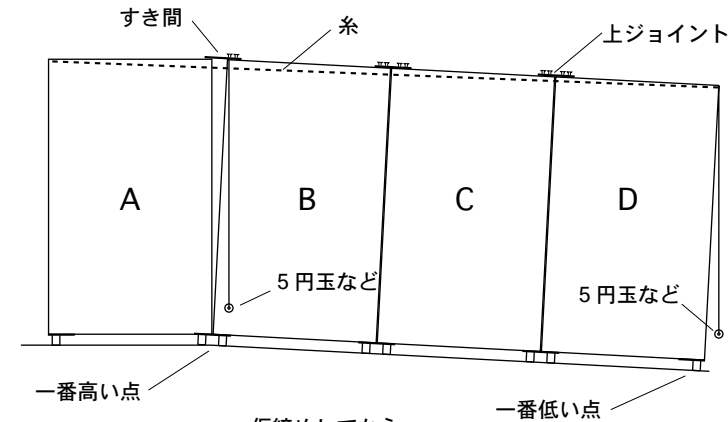


#### 直連結の際の、木ダボの使用 (h=1000%7には付いておりません)

- パネルの小口の中間部に、パネル本体の反りを矯正するための、ダボ穴があいています。
- 直連結をする際に、木ダボを片側のパネルに差し込み、連結する側の穴に木ダボを差し込みます。

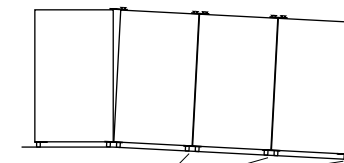


### パネルのレベル合わせの方法



#### ●アジャスターの調整の方法

アジャスターは必ずパネルを上上げる方向で調整してください。



このアジャスターを調整します

- 上ジョイントのボルトは仮締めの状態で作業を行って下さい。

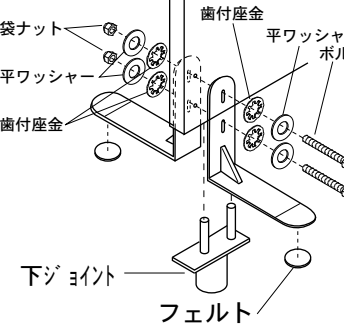
- 1、パネルの連結した両端の角に糸を張り、各パネルの凸凹を確認してください。
- 2、最も高い位置にあるパネルAのアジャスターを、最も低い状態にしてそのパネルの垂直を、5円玉などを糸で吊して確認し、アジャスター調整してください。
- 3、パネルAの隣のパネルBのアジャスター調整をします。その際、図1のようにパネルの上部、下部がパネルAと合うように調整します。
- 4、順番に隣り合うパネルを調整します。
- 5、最後に横に張った糸でパネルに凸凹がないか、垂直になっているかを確認してから、上ジョイントのボルトを本締めしてください。

※図2のようにパネルが下ジョイントにすき間がなく載っていることを確認してください。

- パネルの使用しない孔には付属のフリーキャップをはめ込んでください。

### パネルを自立させる場合 安定脚の使用

#### T安定脚（パネルを両側からささえます）

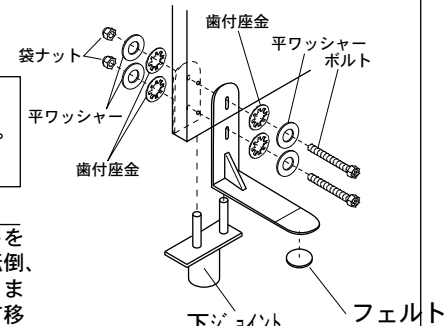


図のように、ボルトを仮締めしてから金具を下に押し下げて、あらためてボルトを本締めしてください。

⚠注意  
各安定脚には、必ずジョイント（アジャスター）を併用してください。ボルトがゆるみ、パネルが倒れ、ケガをすることがあります。

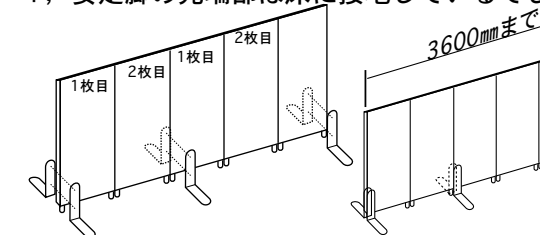
ご注意ください  
安定脚底部には、フェルトを貼ってください。また、フェルトを貼った場合でも、設置後にパネルを引きずると、本体の破損転倒、床の傷、カーペットへのシール剥がれによる汚れの原因になりますので、一度、ジョイントを外してから、パネルを持ち上げて移動させてください。

#### L安定脚（パネルを片側からささえます）



安定脚の取付に際し、以下の点をご確認ください。

- 1、アジャスターは全てのパネルに付いているでしょうか。（安定脚を取り付ける場合にも、エンドジョイント等のジョイントが必要です。）
- 2、アジャスターの調整は終わっているでしょうか。
- 3、安定脚は、連結しているパネル2枚につき、1ヶ以上ご用意されているでしょうか。
- 4、安定脚の先端部は床に接地しているでしょうか。



連結する総幅は、3600mmまでにしてください。  
 例えば、幅600mmのパネルの場合は6枚まで。その際の安定脚は3カ所以上必要です。  
 幅700mmのパネルの場合は5枚まで。その際の安定脚は3カ所以上必要です。

